

コード	IV-11-20	施策名	「有機の里うすき」の実現	
まちづくりの目標	魅力ある資源を市民が創り活かし、人が集まりにぎわうまち(産業・観光)	施策の方針	おいしく安全な食材を創り活かす	
5年後のめざす姿	「うすき夢堆肥」による「土づくり」に重点を置いた有機農業に取り組みやすい環境を整備し、生産者と消費者がともに「食」に関する重要性の理解を深めます。臼杵市長が認証する「ほんまもん農産物」(以下「ほんまもん農産物」)や「有機JAS認証による農産物」(以下「有機農産物」)を、気軽に手に入れることができる環境をめざします。			
施策の課題	「有機の里うすき」の実現むけて、生産振興と担い手対策を同時に進めていくことが重要となります。そのため、「有機の里うすき」の根幹となる「うすき夢堆肥」の安定的な生産並びに供給に努め更なる土づくりの推進を図ると共に、生産者についても農業経営の安定・拡大の促進や農地の確保など、意欲のある若い担い手確保に向けた施策を早急に進めていく必要があります。			

< 施策の進捗を測るものさし(指標) ~ 第2次臼杵市総合計画 後期基本計画 >

新規指標	指標名	指標の説明	指標数値の推移						
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	「ほんまもん農産物」と有機農産物栽培生産戸数	「ほんまもん農産物」及び有機農産物認証生産戸数	目標	戸	60	60	55	57	80
			実績		54	63	54	54	61
			達成率	%	105.0%	90.0%	98.1%	107.0%	
	学校給食での「ほんまもん農産物」と有機農産物の使用割合	学校給食の野菜使用総量に対する「ほんまもん農産物」及び有機農産物の使用割合	目標	%	16.0	15.0	35.0	45.0	35.0
			実績		14.6	12.5	11.3	23.9	23.7
			達成率	%	78.1%	75.3%	68.5%	52.6%	
	「ほんまもん農産物」と有機農産物の利用店舗数	「ほんまもん農産物」及び有機農産物取扱店舗数	目標	店舗	30	35	70	75	50
			実績		30	41	65	75	41
			達成率	%	136.7%	185.7%	107.1%	54.7%	
	「ほんまもん農産物」及び有機農産物栽培圃場面積	「ほんまもん農産物」及び有機農産物栽培圃場面積	目標	ha	84.0	88.0	87.0	91.0	100.0
			実績		80.0	80.8	85.9	50.0	97.0
			達成率	%	96.2%	97.6%	104.6%	106.6%	
			目標						
			実績						
			達成率	%					
			目標						
			実績						
			達成率	%					
			目標						
			実績						
			達成率	%					
指標の進捗状況	概ね順調	指標の分析	<ul style="list-style-type: none"> 「ほんまもん農産物及び有機農産物」認証生産戸数並びに有機農産物栽培圃場面積については、ほんまもん農産物並びに有機農産物両方とも新たな就農者が増え、圃場の拡大も見られたことにより増加した。 学校給食への供給については、天候不良に見舞われたものの、保冷・保存施設など新たな施設を活用してことで、ほぼ現状を維持できた。 「ほんまもん農産物及び有機農産物」の取扱店舗数については、学校給食センターへの供給拡大により、他店舗への出荷が大幅に現象した。 						
		指標達成に向け今後の流れ	<ul style="list-style-type: none"> 「ほんまもん農産物及び有機農産物」認証生産戸数並びに有機農産物栽培圃場面積については、生産意欲の維持・向上や担い手の育成に向けた取り組みの強化を図ると共に、農産物の安定生産に向けた指導・販路拡大の更なる強化に努め、認証生産戸数と栽培圃場面積の拡大を図ります。 学校給食への供給については、農産物の集出荷の体制整備や保冷保存施設の研究を進め、更なる供給拡大を目指します。 「ほんまもん農産物及び有機農産物」の取扱店舗数については、農産物の販売店の拡大を強化します。 						

< 市民意識調査結果 R6実施結果 >

領域名	必要度	満足度	満足度
見直し領域	2.47	2.10	
向上領域: 今後も現状のサービス水準の維持向上が望まれる領域 強化領域: 満足度を高めるよう事業の強化が望まれる領域 見直し領域: サービス水準が適正となっているか、見直しが必要な領域 検討領域: 施策や事業のあり方や内容の検討が必要な領域		浸透度	
			78.35%
過去の調査結果(領域)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	見直し領域	見直し領域	見直し領域

< 施策を構成する主な事務事業一覧表 >

事務事業名	事業内容	担当課	事業費(単位:千円) ※人件費含まない		評価シート作成の有無	課長評価			重点事項
			R4年度実績	R5年度実績		進捗状況	今後の方針	施策への貢献度	
1 土づくりセンター指定管理料	土づくりセンターの堆肥製造、販売等の指定管理を行います。	農林振興課有機農業推進室	35,500	35,100	有	概ね順調	強化	大	○
2 ほんまもの里うすき農業推進協議会補助金	環境保全型の推進、「ほんまもの里うすき」ブランドの確立、地産地消を推進する協議会への補助金	農林振興課有機農業推進室	2,600	3,550	無	-	-	-	○
3 有機農業起業者誘致奨励金	有機JAS認証を取得する新規農業者への奨励を行います。	農林振興課有機農業推進室	2,000	4,000	無	-	-	-	○
4 環境保全型農業直接支払交付金	環境保全を行う有機農業者への交付を行います。	農林振興課有機農業推進室	4,933	5,777	無	-	-	-	○
5 地域おこし協力隊(有機農業)	地域おこし協力隊制度を活用し、栽培研修及び販売対策事業に取り組みます。	農林振興課有機農業推進室	18,360	13,370	無	-	-	-	○
6 有機農業推進支援負担金	学校給食への安心・安全なほんまもん農産物利用率と農家の生産意欲向上のため学校給食調理場が購入する価格の上乗せ助成。	農林振興課有機農業推進室	2,182	2,537	無	-	-	-	○
7									
8									
9									
10									
合計			65,575	64,334	※事務事業評価シートは対象となる要件を満たした事業のみ作成しています。				

< 次年度以降の課題 >

・「うすき夢堆肥」の安定的な生産と供給に努めると共に、地産地消における学校給食の供給拡大にむけた体制整備の構築と有機米導入に向けた調査・研究を早急に進めていく必要があります。また、生産振興においても、意欲のある担い手の確保や圃場の拡大にむけた支援の強化も重要となります。

施策の評価 (今後の施策の方向性)

評価の選択肢 ○ 向上 .. 現状の通り維持向上する ○ 強化 .. 現状より強化を図る
 ○ 見直し .. 現状を見直し適正化を図る ○ 検討 .. 現状の抜本的な検討を行う

< 担当課評価 > ... 評価者 担当所属長

担当課評価	評価の理由と次年度以降の取組
強化	生産者の高齢化や農業資材等の高騰など、農業を取り巻く状況が一段と厳しさを増している中、今後の担い手確保は喫緊の重要課題である。特に有機農業においては、安定的な生産や農業経営の確立が出来ておらず、行政の指導や支援がなければ、生産振興はもとより農家としての存続にも影響を及ぼすため施策の強化を図る必要がある。そのため、引き続き生産振興並びに担い手確保に向けた施策と併せて各実証試験による調査・研究にも取り組んでいく。